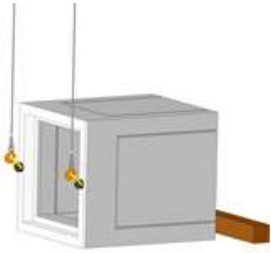
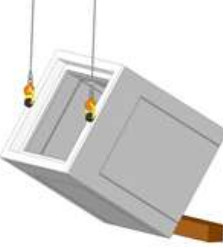


柵の立て起こし作業について

2016.08.20

製品の搬入時、受枠が横面を向いての納入になります。施工の際、立て起こす作業が必要になりますが、製品サイズによっては立て起こし時に製品の重心の移動により、衝撃がかかる場合がありますので、以下の要領で作業してください。

また、柵の呼びサイズにより吊金具の取り付け位置が異なりますので、作業の際には製品サイズをご確認ください。

600×700 サイズ以下	手順
	①受枠インサートに専用吊金具(アイボルトまたはマルチボルト)をセットし、図のように製品の底側に角材等の緩衝材を設置します。 アイボルト・マルチボルトの種類及びサイズは別途一覧を参照してください。
	②角材に寄りかかっていることを確認しながら、少しずつ立て起こしていきます。 急に立て起こすとマルチボルトを軸に回転し、大きくふれるため、ゆっくりと立て起こして下さい。
	③徐々に立て起こすことで急な重心移動もなく、安全に立て起こしが出来ます。
	④製品が垂直になれば、製品の立て起こしの完了です。
	⑤その後、図のように施工となります。